

# 広報 いんざい

## 特別号

平成 26 年 4 月 15 日発行

発行：印西市 編集：秘書広報課広報広聴班  
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476-5111(代) FAX 0476-7242  
ホームページ <http://www.city.inzai.lg.jp/> Eメール [home@city.inzai.lg.jp](mailto:home@city.inzai.lg.jp)

### 小・中学校教室へのエアコン導入

◎小・中学校エアコン設置事業スケジュール◎

平成 26 年 1 月 7 日時点

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
小学校 20 校中 ・設備設計 (5 校) ・設備工事 (5 校) (5 校で 2,602 人の児童数) 児童数が 400 人以上の学校を対象とする (小倉台・原・いには野・滝野・木下)	設備設計	工事		
上記以外の小学校 ・設備設計 ・設備工事 (2,660 人の児童数) 児童数が 400 人未満の学校を対象とする (小倉台・原・いには野・滝野・木下小を除く学校)		設備設計	工事	
中学校 9 校中 ・設備設計 (8 校) ・設備工事 (8 校) (8 校で 2,252 人の生徒数) 船穂中を除く学校 (船穂中は H26 設計の大規模改修にて対応)			設備設計	工事

# 市議会が予算を2度削除

板倉正直市長は、平成26年第一回印西市議会定例会で、小学校の普通教室にエアコンを整備するための設計予算の入った平成26年度当初予算案を提案しました。

しかし、本会議では3月12日と20日の二度、小・中学校教室の空調整備(以下、エアコン整備)のための予算を削除した修正案が賛成多数となり、平成26年度当初予算に計上することができませんでした。

#### エアコン整備事業

今回、市長が提案したエアコン整備設計予算は市長公約であり「市内の小・中学校29校を3つのグループに分け、4年間かけて全校にエアコンを整備する」という計画に基づくものです。

事業を開始する平成26年度は、小学校5校で整備設計を実施するため2,000万円を当初予算案に計上していました。

このような小・中学校教室へのエアコン整備事業は、夏の暑さ対策として近隣自治体でも整備が進められています。

#### 4年間で全校へ設置

4年間の計画とした理由は、次の①②③のとおりです。

①印西市の教育関連事業では現在、給食センターの新設などに多額の予算の投入を予定しており、一度に整備するには財政負担が大きすぎる。

②規模の大きいオープン教室を有する学校は、風通しが悪く暑い傾向があるので優先する。

③一度に約400教室分に相当するスペースにエアコンを設置する場合、入札の成立・工事の施工管理などの点で、計画的に進めるには多くの課題がある。

#### 再議書を市議会へ提出

このような理由から「市内の小・中学校を3つのグループに分け、大規模の小学校からエアコン整備に着手し、4年間で全校分の工事を終える」という計画にしましたが、市議会では、このエアコン整備設計予算2,000万円を削除する修正案を3月12日の本会議で可決しました。そこで、市長は地方自治法の拒否権の制度を使い、議長に再審議を求める「再議書(裏面参照)」を提出しましたが、議会で3月20日の本会議でエアコン整備設計予算を削除した修正案が再度可決されました。

#### 市議会の動き

市長が提案したエアコン整備設計予算に反対した議員の主な理由は「市民および議員への説明が不十分」というものでした。しかし、今回の議会では再議を含め約8時間にわたる質疑や討論が重ねられました。

また、教室のエアコン整備は市長公約であり、平成26年度の予算説明資料や重点施策の資料にもエアコン整備について記載していることから、市として説明は十分であると考えています。反対した議員からは「基本計画がない」「市民意見公募(パブリックコメント)がない」「市民に対する説明がない」「PFIやリースを検討していない」「全校一斉に整備すべき」ともっと早くできないか」といった指摘もありました。エアコン整備で基本計画、意見公募、市民への説明会を実施している自治体は近隣では見当たりません。

#### 市民意見の聴き取りへ

市としては、本会議で二度もエアコン整備設計を削除された予算が賛成多数となったことを考慮し、広く市民の皆さんの意見に耳を傾けていきたいと考えています。

【エアコン整備事業について】  
教育総務課教育施設班(☎内線514・515)・市長公約について  
【秘書広報課(☎内線416・418)】